



令和8年度 取手松陽高校グランドデザイン

校訓

「自律」
「創造」
「協和」

教育目標

自ら考え行動する力（自律）を養い、豊かな人間性（創造）を培い、広い視野（協和）をもった生徒の育成を目指す。

- 1 各学科の特色に応じて、生徒一人一人を活かす教育を基本目標として、自ら進んで行動する意欲や態度を養う。
- 2 芸術教育やスポーツ等を通して、感性を磨き、心身ともに健康で、豊かな人間性を培う。
- 3 広い視野をもち、様々な文化を理解し、国際社会に貢献し得る人材を育成するとともに、協和の精神を重んじる心を育てる。

目指す学校像

学校・家庭・地域社会と緊密な連携を図りながら、教職員と生徒が協働して全ての教育活動に積極的に取り組み、明るく活力ある学校。

育てたい人財像

豊かな人間性と広い視野を持ち、自分のキャリアデザインを基に、地域はもとより国際社会にも貢献し得る人財。

重点目標

基本的な生活習慣と学習習慣の定着

- ① 挨拶の励行や、時間・期限の厳守等、凡事徹底を図り、より安定した生活習慣を確立させる。
- ② 朝の交通指導と登校指導の充実を図り、挨拶・遅刻指導、端正な制服着用を含めた生徒指導を徹底する。
- ③ 毎日の授業を大切にすると同時に、積極的に課題や小テストを活用することで、家庭学習の時間を増やし、自主学習の習慣を定着させる。

ICTの活用を含めた学習による学力向上と主体的な学びの育成

- ① 授業改善プロジェクトのメンバーを核として授業研究や職員研修を充実させることにより、ICTを活用して学ぶ場面を効果的に授業に取り入れ、生徒の学力向上を図る。
- ② 年間を通して個別面談を計画的に実施し、自らのキャリアについて主体的に考え、自己実現に向けて学ぶ力を身に付けさせる。

国公立大学や難関私立大へ挑戦する進学対策の確立

- ① 国公立大学合格者数延べ5人以上、私立大学合格者数延べ120人以上を目標とする。
- ② 生徒の状況をきめ細かく分析した課外指導やスタディマラソン等の実施により、一般入試で合格できる学力を育成する。
- ③ 三年間を見通した体系的な進路指導の確立と、新しい学力観に対応した指導法を研究する。

特別活動・部活動の活性化による学校生活の充実

- ① 部活動加入を働きかけるとともに、外部指導者を積極的な活用を図りつつ加入率75%以上を目標とする。
- ② 地域行事への参加や地域の施設などと連携し、奉仕活動や体験活動・国際交流を積極的に推進する。また、学校HP、Instagram等を用いて情報発信を充実させる。
- ③ ホームルーム活動や学校行事及びボランティア活動等を充実させることで、自らを振り返り、将来を考え、自分の成長を認識できるようキャリアパスポートを活用する。

働き方改革の推進

- ① ICTの利活用による業務の効率化、資料等のペーパーレス化を推進することにより、教職員の業務改善を促す。
- ② 部活動の全体活動の効率化を図ることで活動時間を短縮し、生徒・職員の負担を軽減する。